

女性の活躍促進にかかる課題・状況について

1. 女性の活躍こそが日本の未来を支える！！

人口の減少、少子高齢化が進む中、生産年齢人口（15～64 歳）はどんどん減少していきます。生産性を高め、経済を活性するためには、潜在化している女性の力がいまこそ必要です

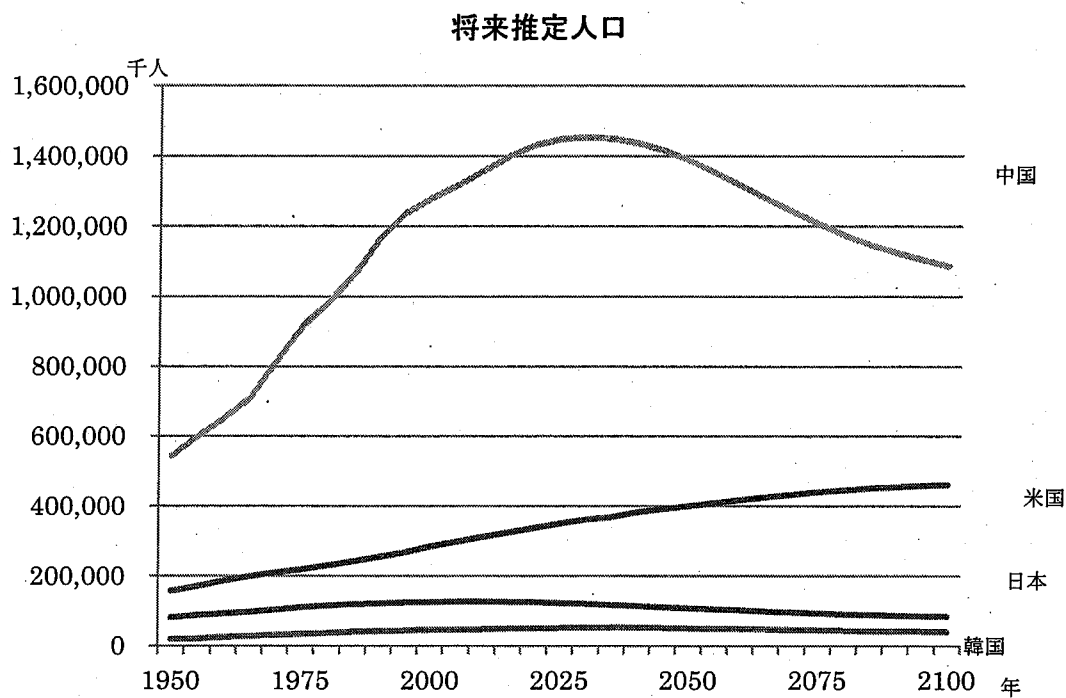
- 社会の現状として、2つの大きな課題 （資料①）
 1. 就労の場における女性の参画（M 字カーブ）
 2. 意思決定過程における「指導的地位」につく女性が少ない。
- 女性の活躍推進の経営効果 （資料②）

2. ライフステージにおける取組みが必要！！ （資料③）

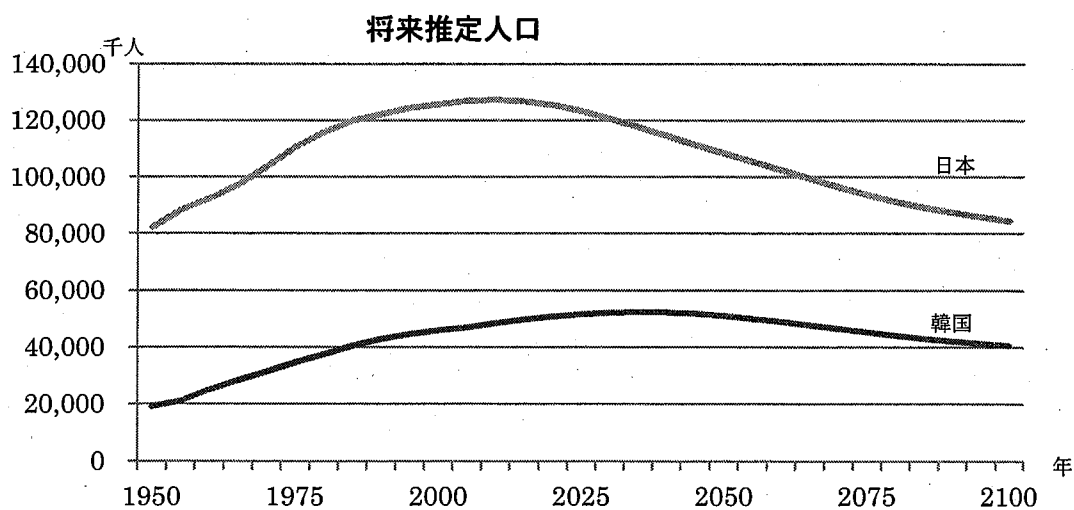
(社会状況)

1. 人口の減少、少子高齢化

特にアジアの主要国において、2100 年の推定人口は大きく減少している。



国連事務局経済社会局の人口部、世界人口見通し 2012

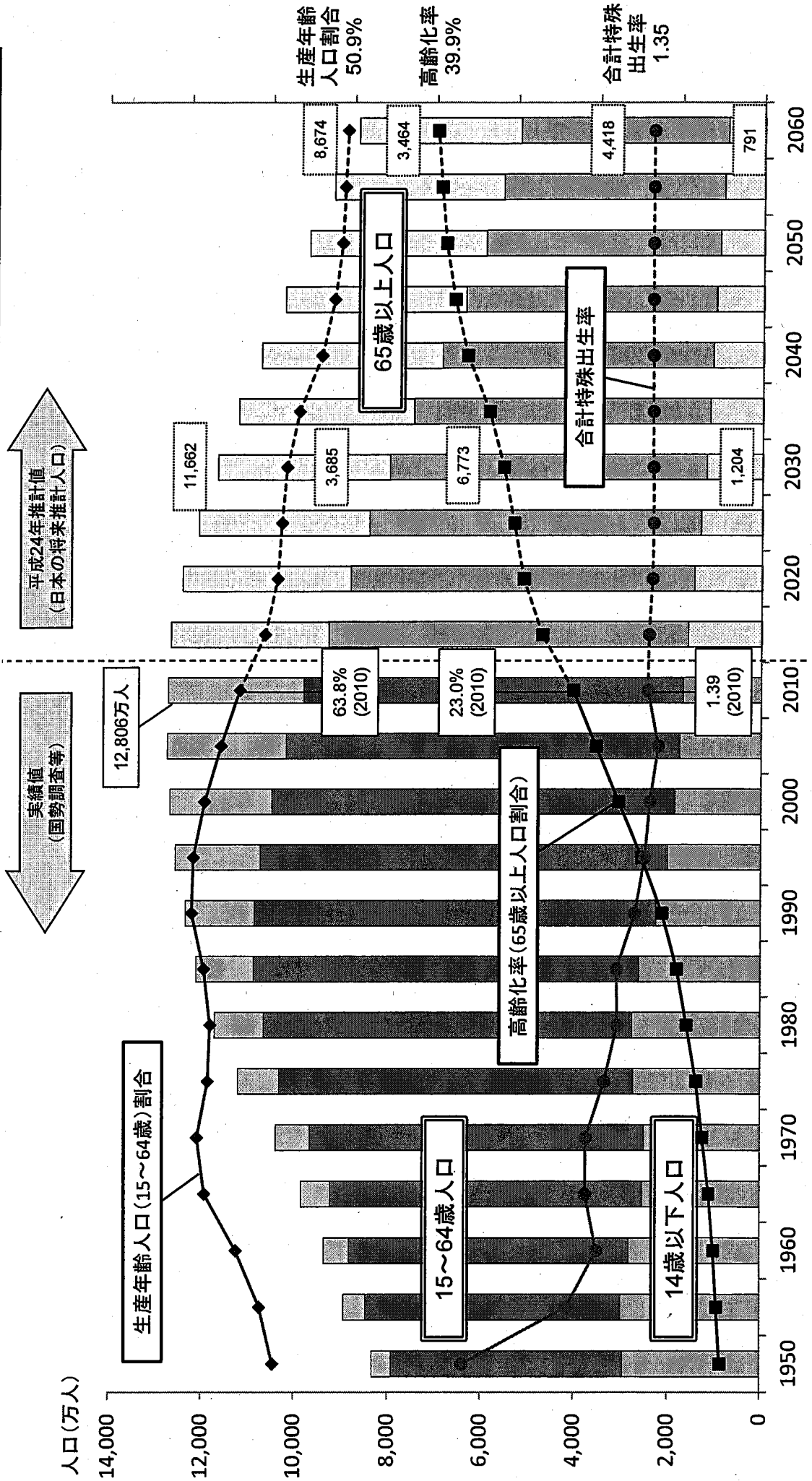


国連事務局経済社会局の人口部、世界人口見通し 2012

人口が最大になる年の推定人口と 2100 年の推定人口を比較すると、中国は、367,666 千人 (25.3%)、韓国は 11,878 千人 (22.7%)、日本は、42,882 千人 (33.7%) の減少が推定されている。

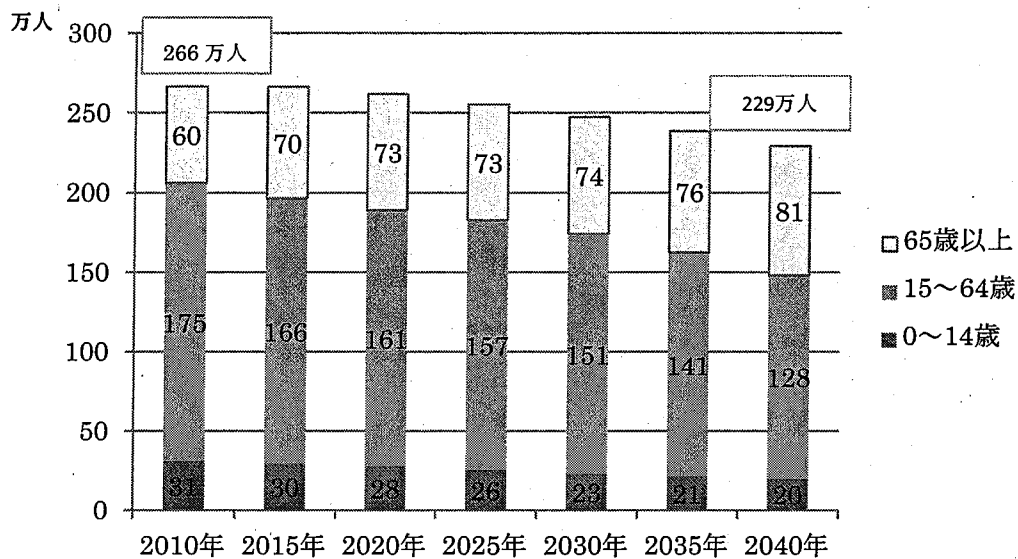
日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年横ばいであり、人口減少局面を迎えている。2060年には総人口が9000万人を割り込み、高齢化率は40%近い水準になると推計されている。



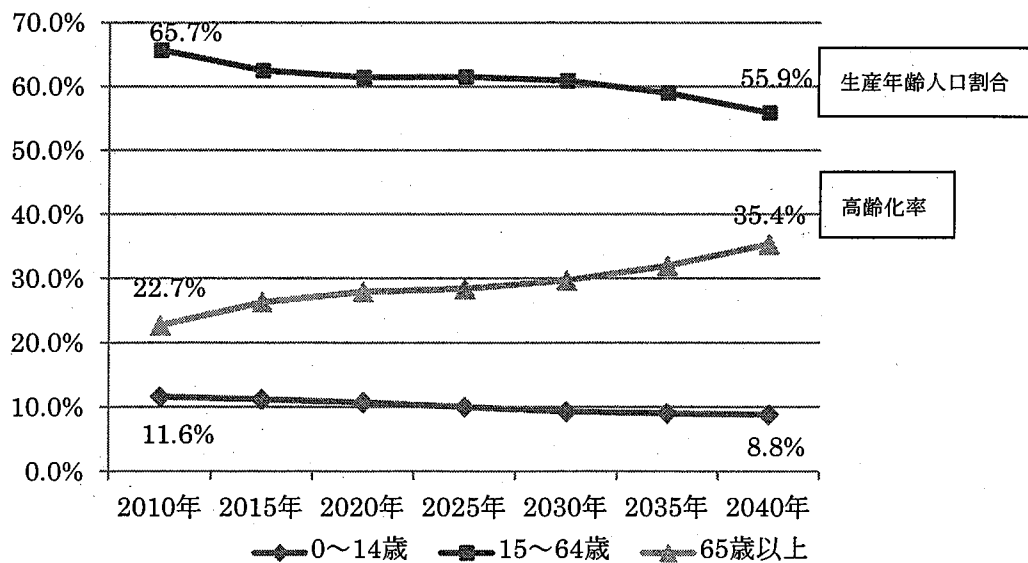
(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口) 厚生労働省「人口動態統計」

大阪市 推定人口の推移



2010年と2040年の推定人口を比較すると、人口数では、37万人（14.0％）減少し、生産年齢人口（15～64歳）は、47万人（26.8％）減少すると推定されている。

大阪市 各年齢層の割合



2040年には、高齢化率は35.4％となり、生産年齢人口の割合は約10ポイント減少すると推定されている。

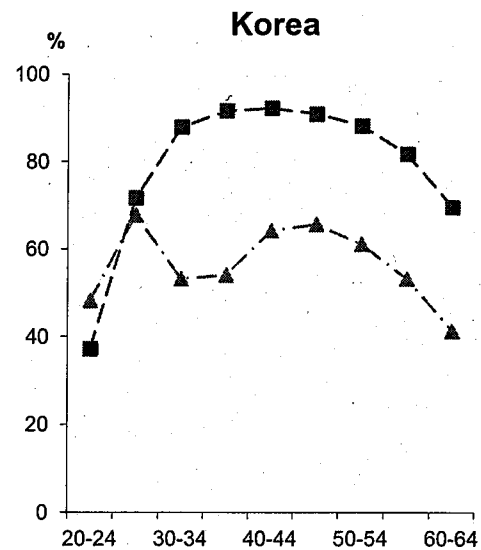
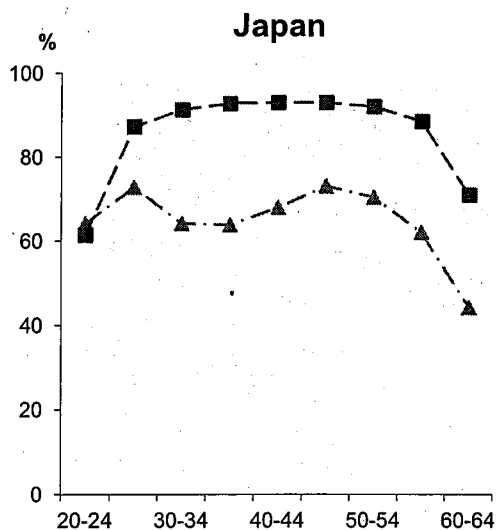
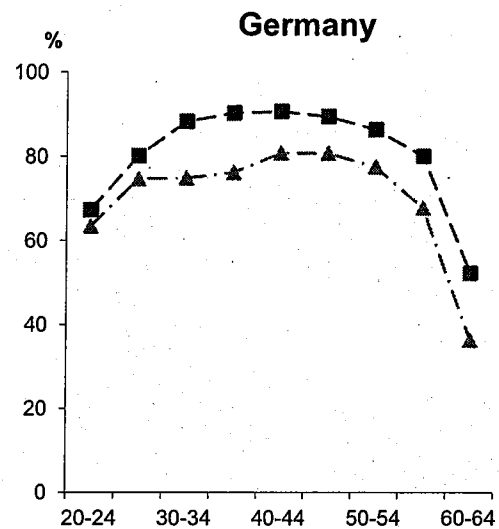
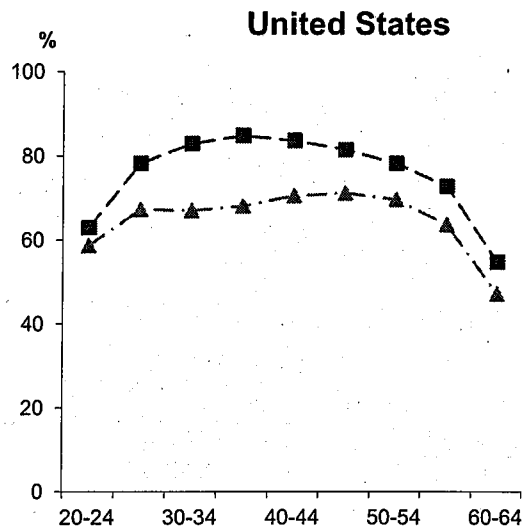
（平成22年 世論調査）

I. 就労の場における女性の参画(M 字カーブ)

女性の年齢階級別労働力率:国際比較

Age-employment profiles 2011

■ : 男性 ▲ : 女性



(OECD Family database)

女性の年齢階級別労働力率の M 字カーブは、欧米諸国ではすでに見られない。わが国では、我が国の女性の労働力率の現状を年齢階級別にみると、30 歳代を底としたいわゆる M 字カーブを描いている。背景には、我が国では依然として結婚、出産、子育て期に就業を中断する女性が多いことが挙げられる。